武蔵国分寺跡史跡指定100周年記念行事(文化財関連事業)



史跡武蔵国分寺跡の価値と保存について オープニングイベント記念講演会 主催:国分寺市・国分寺市教育委員会



国登録有形文化財となった沖本家住宅 恋ヶ窪公民館 歴史講座 主催:国分寺市教育委員会連携企画



新庁舎建設に伴う発掘調査現場見学会 主催:国分寺市・国分寺市教育委員会ふるさと文化財課 テイケイトレード株式会社



武蔵国分寺の成り立ちと史跡武蔵国分寺跡 もとまち公民館 連続歴史講座 主催:東京都公文書館・国分寺市教育委員会連携企画



武蔵国分寺跡史跡指定 100 周年歴史講座①

10月 29日(土) 13:30~15:30 (開場13:00~)

会場:本多公民館 定員:100人

国分寺村名主の四男として生まれた本多難軒。幕末・明 治の多摩において、医療や書画など多彩な能力をもって活 躍しました。本講座では、医師としての雖軒に注目し、日々 の診療や感染症治療など地域医療に取り組んだ姿を、多く の古文書史料から解き明かします。

- ●申し込み:9月16日(金)午前9時から
- ●問い合わせ:本多公民館 042-321-0085 国分寺市本多1-7-1

講師: 工藤 航平さん (国立歴史民俗博物館 准教授) 専門 日本近世史·近代史 地域文化史

1976 年神奈川県生まれ。東京学芸大学、 同大学院を経て、総合大学院大学日本歴史 博士 (文学)。国文学研究資料館機関研究員、東京都公文書 館史料編さん担当公文書館専門員を経て、現職。

【主な著作】

【主在著作】 著書店「近世親書文化論一地域(知)の形成と社会一3 (她誠出版、2017年)、「公儀の庭・浜御殿の変遷と嘉義」 (『東京窓公文書館附書研究年報(WER 版)」第 3 号、2017 年)、「編末開江門周江とおける地域文化の自立(2017 近世史研究』第 65 号、2008年)、共著『小平市史近世編』

(小平市、2012年) (いてい、2012年) 場膜を参加時には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のが め、マスク着用などのお願いをしております。 詳しくは公民略だより(けやきの樹)をご覧ください。

本多雖軒と国分寺の地域医療 本多公民館 歴史講座①

主催:東京都公文書館・国分寺市教育委員会連携企画



月 7日(土) 13:30~15:30 (開場13:00~)

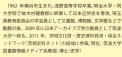
会場:本多公民館 定員:100人

玉川上水は江戸時代前期の承応2年(1653)に開削 され、近代に至るまで江戸市中の生活用水を供給し続け ました。また江戸時代中期の享保年間(1716~36)には、 徳川吉宗の新田開発政策のもとで玉川上水から分水を引き、現在の国分寺市域にあたる村々の生活も支えました。 この講座では、近年の研究成果から玉川上水の歴史を述べるとともに、国分寺市域にかかわる分水について紹介 します。

- ●申し込み:10月18日(火)午前9時から 電話または直接本多公民館へ。(先着順)
- ●問い合わせ: 本多公民館 042-321-0085 国分寺市本多1-7-1

講師: 白井 哲哉さん (筑波大学図書館情報メディア系教授) 専門 日本近世史・

日本アーカイブズ学



【主な著作】

著書に『日本近世地誌編纂史研究』(思文閣出版、2004 年)、『災害アーカイブ: 資料の救出から地域への選元ま で』(東京堂出版、2019年)、共著『羽村市史 資料編 近 世』(羽村市、2019年)など。

・ 関連を参加時には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、マスクの着用などのお願いをしております。詳しくは公民略だより(けやきの樹)をご覧くださ

玉川上水と国分寺市内の分水 本多公民館 歴史講座②

主催:東京都公文書館・国分寺市教育委員会連携企画



2月17日(±) 13:30~16:00 (開場 13:15) 会場:光公民館 定員:30名

ひとつとして享保 14 年 (1729) に関係が作られました。その後か、 路に水が入らなくなったことから、およそ 150 年前に一部を「胎内 堀」と呼ばれるトンネル状の暗渠に作り替えたことが古文書よりわ かっています。西町四丁目にはその稀少な遺構が残っており、令和 3年(2021)に発掘調査の中で姿を現しました。水確保のため苦難 5年 (2027) に外間の自分で、安全水でなった。小幅度からいの占数を乗り越え完成した胎内端よった。下間で更更更能に指定されました。 この胎内端のようなトンネル状の水管としては、千葉県の房総丘 酸にある「二五穴」が有名です。江戸時代後期から明治時代にかけ て作られ、100 年以上も水田に水を送る現役の水路です。規模が幅 (TH) 74、100 年以上の水田に水を並ら味むが水路です。 別場の「用く、高さ五尺がよそ60mm 150mm であるとかが動の由来で、長いトンネルでは 700m もあります。さらに二五穴は期間時の見頼 書や請食書が残され、工事の様子を使元できる貴重な遺産で、二五穴を進して地域の農業と暮らしを支えた先人たちの苦労と技術を学びます。

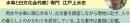
●申し込み:11月28日 (月) までに、電話または直接 光公民館へ(定員30名)。多数の場合は抽選、定員に 満たない場合は翌日以降先着順。 ●問い合わせ:光公民館 042-576-3991 国分寺市光町3-13-19 (第二小学校西隣)

講師:島立 理子さん (千葉県立中央博物館 企画調整課長) 専門 民俗学

報子 総業書や古写真をもとに、文献資料や 聞き取り調査といった方法で、明治時代 以降の人々の生活文化の変化や、房総に 生活する人々が地域の自然とどのようにかかわり; をしてきたのかを調査研究している。主な著作は裏

「房総丘陵の用水路 二五穴」

調査報告:小坂 克信さん (国分寺市文化財調査専門員、産業遺産 水車と臼文化会代表)専門 江戸上水史



「中藤新田分水の暗渠の開削時期」

調查報告:市職員(中藤新田分水発掘調査担当 「中藤新田分水(西町四丁目)の発掘調査」

二五穴と胎内堀の技術 光公民館 歴史講座

主催:国分寺市教育委員ふるさと文化財課・光公民館共催事業



13:00~16:00 (開場12:30) 会場:並木公民館 定員:50名

「上水記・は、玉川上水の開動から 137 年後の寛政3年 (1791) に幕府普請奉行上水方石野広道 (いしのひろかち) が編纂した江戸 上水の公式記録です。天明8年 (1788) に記録し、3年がかりで3 が作成された祖園で0 10 巻機成で、18は4時の11 代学港側1除奈 に就上し、(国立公文書館内製文庫像・欠本あり)、1 部は老中松平定 信に進呈 (所在は不明)、残りの1 部が上水方役所の保存用として「上 水方のかちしるべ」にされたことが伝わっています。 明治維新後、上水の管理が明治政府、東京府へ移匿されるにあたり、 上水方の「上水」は東京南十土本版と大湖番に同き経が、野花、

上水方の『上水記』は東京府土木課から水道局に引き継がれ、現在、 東京都水道歴史館に保管されています。本講座では、『上水記』を紐 解きながら、玉川上水が作られた歴史的背景や武蔵野新田開発の立

役者:川崎平右衛門定孝の事績に迫ります。 また、市内北町三丁目の妙法寺境内には、代官川崎平右衛門や伊 また、市内は町三丁目の砂法寺場かには、代宮川県早右衛門や伊 非米佐衛門と成野の砂を表した地間等 (寛女) 1年世辺 かあり、 市重要格形文化制に指定されています。このほど、文化財の保存権 理工事を行いましたので、職業総子後、沙法古様の副加力を得て、 現地で市教育委員会の職員が「川崎・伊奈明代官譲退地」の解説を いたします (※16 時頃、妙法寺場内にて解説が定てず)。 繊維型物体には第四コウナイルを設定は大防上が無のため、マスク着用 などのお腕・セレズおります。詳しくは2月15 日号けやその側(公民順だよ り) とこ覧くだない。

講師: 金子 智さん (東京都水道歴史館 企画調査責任者 専門:近世考古学



数多く参画した江戸遺跡の発掘調査を通して、江戸時代 数多く 多間したエー連動の発動機を避して、江戸時代 の瓦の生産体制・流過実態を解明されていらっしゃいます。 また、例年、東京文化財ケイークの開閉にあわせて東京都指 定文化財『上水記』展を開催し、江戸・東京における水利用 の歴史を総合的に研究されています。

エル·名TF』 「近世城郭の瓦」中井均・加藤理文編「近世城郭の考古学入門」 (高志書院・2017年) 「お江戸の街の上水と下水」『月刊土木技術 76巻2号 特集:お江戸と土木」(土木技術社・2021年) 「江戸の上水整備とその技術」『考古学ジャーナル 772

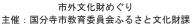
特集: 近世の土木考古学』(ニューサイエンス社・2022年

●申し込み: 2月 28 日(火)までに 電話または直接並木公民館へ。 多数の場合は抽選、定員に満たない 場合は3月 1日 (水) 以降先着順。 ・ 同い合わせ: 並木公民館 電話 / 042-321-9971 住所/ 国分寺市並木町 2-12-3

玉川上水と『上水記』 並木公民館 歴史講座

主催:東京都水道歴史館・国分寺市教育委員会連携企画

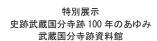






市内文化財めぐり 共催:国分寺市教育委員会・こくぶんじ観光まちづくり協会

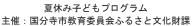






武蔵国分寺跡 国史跡指定 100 周年記念イベント 主催:国分寺市・国分寺市教育委員会







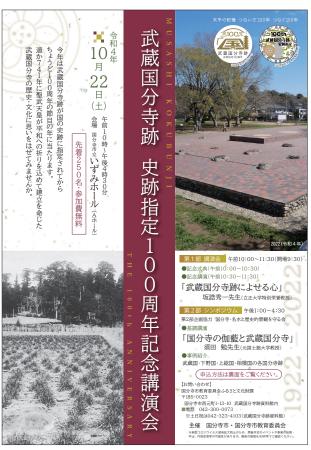
おたかの道湧水園無料公開 共催:国分寺市教育委員会ふるさと文化財課



史料に見る国分寺のあゆみ~江戸時代の村々~ 東京文化財ウィーク 2022 参加企画展 共催:東京都公文書館・国分寺市教育委員会



展示スタンプラリー 主催:国分寺市・国分寺市教育委員会

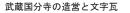


武蔵国分寺跡 史跡指定 100 周年記念講演会 主催:国分寺市・国分寺市教育委員会



武蔵国分寺跡の保存と観光活用 観光考古学会パネルディスカッション 共催:国分寺市・国分寺市教育委員会・武蔵野文化協会





武蔵国分寺跡史跡指定・住田正二先生生誕 100 周年記念シンポジウム 主催:国分寺市教育委員会・住田古瓦考古学研究支援委員会



東京都遺跡調査会・研究発表会 主催:東京都教育委員会・国分寺市教育委員会 共催:公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化センター